

園だより 11月

あなたはすべてを知恵によって成し遂げられた。
地はお造りになったもので満ちている。

詩編 104 章 24 節

10月 は秋らしい気候の中にも寒暖差やお天気に気を配るひと月でありました。年少組・年中組仲良しで出掛けるはずだった「秋の実りひろい」は天候に恵まれずいまだ行えず、年少組の子どもたちからは「いつ行くの～」の声が今も聞こえるとか・・・。

そんな天候が安定しない時節ではありましたが、ぜひ晴れて欲しい「運動会」と「お芋掘り」は秋晴れの中行うことができました。全園児で過ごす大切なときが恵みの中にあったこと、感謝でした。年長組の子どもたちは9月の中頃から運動会について話し合いを始め、決められている競技をする運動会ではなく、自分たちで考え、仲間同士で話し合い、想いを共有しながら作り上げていきました。自分たちが楽しむ運動会にすることは言うまでもなく、応援に来てくださるお家の方々にも喜んでいただける、届けたいことも考えました。また、自分自身の持っている力に挑戦のときでもありました。年少組・年中組の子どもたちは、園生活で親しんでいる絵本の世界を表現して楽しんだり、心地よい気候の中ぐんぐん大きくなっている力を感じ精一杯に走って過ごす日常を、年少児は広い場所で楽しむ、年中児は今の力をお家の方にも届けようという年中児ならではの想いも加わった運動会となりました。それぞれの学年ならではの子どもたちの想いの詰まった一日でありました。子どもたちはどの競技も全身で楽しみ、持っている力全部を出し切り、どんなときも真剣でした。幼稚園では年長組のチーム競技のリレー以外は順位を決めません。個々の順位付けで子どもたちが一喜一憂する必要性を感じないからです。子どもたちは順位が付かなくても、それぞれに達成感を感じ、悔しさを感じています。寄り添う者たちはその気持ちに共感し共に喜ぶ、悔しい思いには励ましを贈る。それが子どもたちの次への希望と意欲に繋がると確信しています。今年度も運動会を通しての子どもたちの直向きな姿、心の成長に震える感動を覚えました。応援して下さる保護者の皆様とその感動のときを共に過ごせましたこと、感謝でした。

寒さが少しずつ進む11月。「静かで豊かなとき」が訪れる時期になりました。子どもたちと共にその嬉しいときをお過ごしいただけますことお願い申し上げます。

園長 駿河 幸子

